

事務事業名		菱田春草顕彰事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	1	終了		
H27担当課等名		美術博物館		H27係等名	学芸係		H26係等名		学芸係						
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり											
		施策	29	ふるさと意識の醸成											
目的	対象(誰・何を)	1 飯田・下伊那広域圏の圏域住民										対象指標	指標名及び単位		26年度数値
	意図(どういう状態にするか)	飯田出身の日本画家・菱田春草に対する関心を高め、また優れた芸術作品に触れる機会を提供する											圏域住民数(人)	164580	
	向上させたい上位施策の成果指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)													
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)						
	成果指標	展示会の観覧者数(延べ人数)			13000	12686	8000	9000							
	成果指標	実施した展示回数			6	6	7	6							
定性目標															
事業概要	<p>飯田に生まれた菱田春草は、日本画の近代化を推進しつつ数多くの名品を手がけた作家として広く知られた存在である。この菱田春草について調査・研究をおこない、それに基づき平常展示や特別展を実施する。この事業により春草の名品に触れる機会を提供し、飯田における文化芸術の振興を促す。また春草の生涯に接する機会を提供して春草を市民の誇りとし、地域への愛着と自信の育成へと結びつける。具体的には以下の内容を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 菱田春草およびその関連作家に関する調査・研究をおこなう。</li> <li>2 菱田春草およびその関連作家の館藏品・寄託品を展示会を通じて市民に公開する。</li> <li>3 菱田春草に関する特別展示を計画し、実施する。</li> </ol>														
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標						
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 菱田春草に関する調査・研究</li> <li>2 展示会の開催 (1)春草生誕140年・生誕地公園完成記念特別展「創造の源泉－菱田春草のスケッチー」 会期:平成27年3/21～4/19 (2)コレクション展示「春草に親しむ1～4」 会期:4/12～5/11、5/17～6/15、8/30～9/28、10/4～11/3 (3)夏休み特別企画「親子でたのしむ春草展」 会期:7/12～8/24 (4)パネル展示「春草の生涯」 会期:5/10～7/11、8/26～1/25</li> <li>3 春草生誕記念イベント 開催日:9/21頃 内容:シンポジウムなど</li> </ol>				<ol style="list-style-type: none"> <li>1 特別展の図録数</li> <li>2 イベントの日数</li> <li>3 コレクション展示の本数</li> <li>4 夏休み特別企画展示回数</li> </ol>				<ol style="list-style-type: none"> <li>1 1,000冊</li> <li>2 3日</li> <li>3 4本</li> <li>4 1本</li> </ol>						
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足									
事業費計(千円)①		692	11,525	11,104	3,411	[26特定財源] (国) 社会資本整備総合交付金 (充当率45%)									
国庫支出金			3,060	3,276	1,050										
県支出金															
起債															
その他															
一般財源		692	8,465	7,828	2,361										
人件費計(千円)②		3,218		0											
正規職員所要時間		900													
臨時職員所要時間															
総事業費①+②		3,910	11,525	11,104	3,411										
事業内容・目標達成状況の振り返り	特別展「創造の源泉」に際して様々な新出資料を発見し、内容ある展示会にすることができたため、市民の春草に対する関心を高めることができた。また夏休み特別企画は小中学校との連携企画であり、児童・生徒や学校に対しての関心喚起を図ることができた。														
改革改善の考え方	①問題点	所蔵作品点数の関係から、年間を通じて春草作品を陳列することがいまだできていない。また様々な方法で市民への「菱田春草」の周知を試みているが、十分に認知されているとは言い難い。													
	②改革提案	春草に特化したコレクション展示を開催するほか、講座など展示以外の普及方法を模索する。特に春草のコレクション展示の回数を増加させるよう検討を図る。													